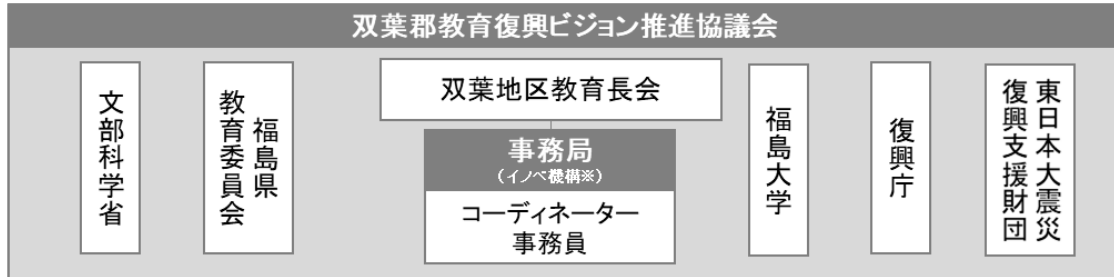


■令和4年度 双葉郡教育復興ビジョン推進体制・委員会等構成

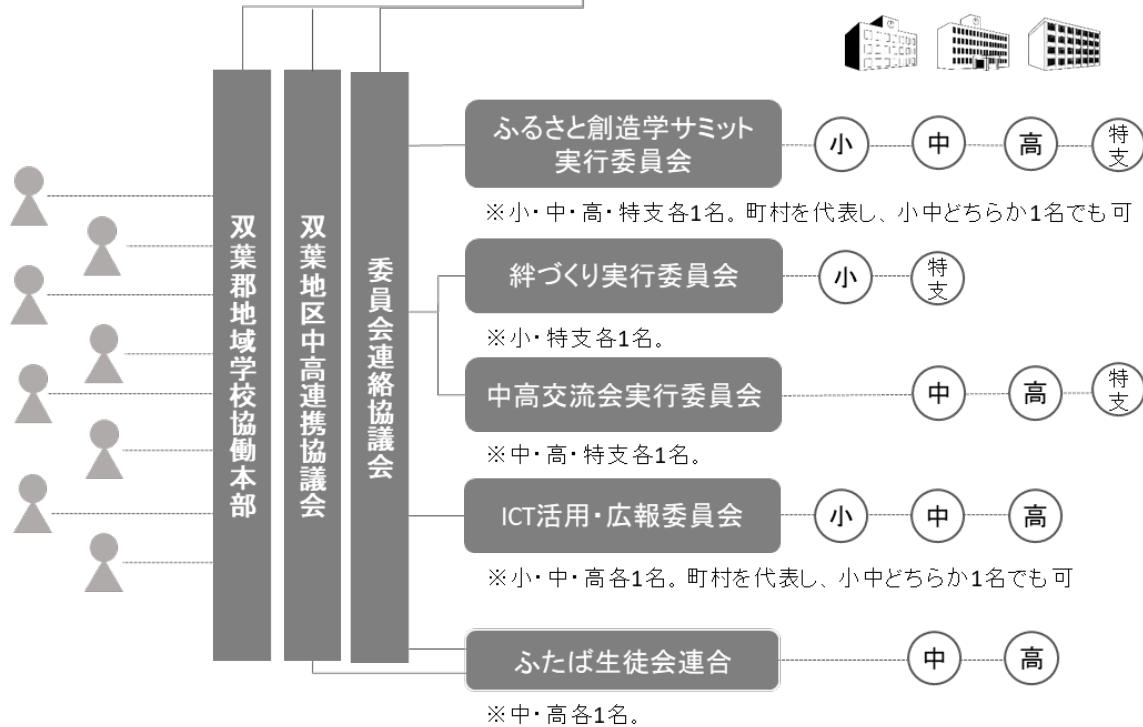
資料 3

- ・引き続きこれまでの活動を踏まえ、各校や委員への過大な負担とならないよう配慮しながら活動を進める
- ・これまでの取組の成果の評価や各町村の状況の変化等を考慮しながら、各委員のあり方や活動についても継続的に改善、更新していく



※公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構

各校教員が委員となり企画・運営



※委員長を中心とした委員会連絡協議会を開催し、各委員会間での情報共有・連携を進める

委員会等	委員長	委員（名）
サミット実行委員会	石井 智明 広野小学校長	18
絆づくり実行委員会	横山 雄彦 檜葉小学校長	9
中高生交流会実行委員会	南郷 市兵 ふたば未来学園副校長	11
ICT活用・広報委員会	大沼 俊之 双葉中学校長	16
ふたば生徒会連合	佐藤 仁 葛尾中学校長	10
双葉地区中高連携協議会	早川 良一 檜葉中学校長	-

■令和4年度 双葉郡教育復興ビジョン取組一覧

【取組全体のねらい】 子どもたちの”自ら未来を切り拓く力”を育むため、
町村や世代の垣根をこえてつながり、双葉郡独自の魅力的な教育を進める

取組（運営）	ねらい	実施計画
小学校絆づくり交流会 （絆づくり実行委員会）	○町村の垣根を越えた仲間づくり ○双葉郡内小学校の教職員の交流・情報交換	◆日時：2022/8/1（月） ◆会場：ふたば未来学園中学校・高等学校 ◆内容：（案）町村の垣根を超えた大運動会
中高生交流会 （中高交流会実行委員会）	（双葉郡中高連携の目的） ○交流を通じ、生徒が主体性・協働性・創造性を発揮 ○双葉郡としての一体感を感じる 【中高交流会の目標】 ○お互い共感し認め合い、つながりを感じる ○創造的な学びに主体的に参加することでわくわくする	◆日時：2022/8/4（木） ◆会場：ふたば未来学園中学校・高等学校 ◆内容：参加型選択制ワークショップ
ふるさと創造学サミット （サミット実行委員会）	○「ふるさと創造学」の取組を共有し、学びを通じた交流で、地域のつながりをつくる 【スローガン】 ～伝えあい、つながって、広がる ふるさとふたばの学び～ 町村や校種を越えて学びあい、多様な見方・考え方にふれることで視野を広げる	◆日時：2022/12/3（土） ◆会場：（案）学びの森（富岡町）+オンライン ◆内容：各校の「ふるさと創造学」の取組を発信し、学びの交流を行うセッション
ICT活用推進 （ICT活用・広報委員会）	○双葉郡内各校の取組情報共有、連携促進 ○ICT活用による教育活動の充実・校務の効率化	◆8町村連携した各取組でのICT活用サポート（各交流会、サミット、ふたば生徒会連合の活動サポート等） ◆Zoom等を活用した事例紹介・情報交換
広報誌発行 （ICT活用・広報委員会）	○郡内各校の取組や子供たちの姿・思いを地域内外へ発信（教員や子供の視点を大切に） ○子供たちの表現・発信等の実践の場とする	◆発行：年1回（2月）（約38,000部） ◆配布：8町村全戸、郡内各校、その他 ※編集方法：Googleアプリ等を活用し各校から写真を募集・各取組イベント取材
ふたば生徒会連合 （ふたば生徒会連合 担当委員会）	（双葉郡中高連携の目的） ○交流を通じ生徒が主体性・協働性・創造性を発揮 ○双葉郡としての一体感を感じる	◆ビデオ会議、ビデオ交流、対面会議 ◆中高生交流会やふるさと創造学サミットの司会進行、企画の運営等 ◆広報誌作成協力等
各取組間の連携促進 （連絡協議会）	○各取組が相互につながりを持つことで、双葉郡独自の魅力的な教育を進める	◆各委員会委員長及び中高連携協議会長により組成（年2回） ◆各取組の方向性・進捗確認、成果課題の共有
双葉郡 地域学校協働本部	○「ふるさと創造学」などの機会を活用して、子どもたちの学びの場を広げる ○地域の人びとや企業・団体の知識・経験などを生かす場を広げる ○町村や世代を越えた交流をつくり、未来につながる仲間の輪やコミュニティを広げる	◆郡内各校と地域や企業・団体との連携・協働促進 ◆8町村地域コーディネーター、各校連携担当教職員の連携強化